

特定非営利活動法人シンセア

グループホームたみの里 - 清水

～明日のために～



サービス種別	認知症対応型共同生活介護
所在地	静岡県静岡市清水区吉川129-4
電話番号	054-347-6541
職員数	15人
設立	2006年
メールアドレス	taminosato-shimizu@biscuit.ocn.ne.jp
ホームページ	https://www.npo-sincere.org/

取組紹介

1 おやつを作る楽しみ、食べる喜び

利用者様に「作る楽しみ、食べる楽しみ」を感じていただくため、3日に1回を目標におやつ作りを行う。また、独自の「おやつカレンダー」で何を食べたかを見える化し、利用者様には次のおやつの楽しみに、職員にはやりがいにも繋がっている。

2 日本文化を楽しみながら地域と交流。災害時の協力体制にも

自治会長様との情報交換を定期的に行い、盆踊りや子ども神輿などを通じて地域との交流を深めている。利用者様と地域の方々が、ともに地域の一員としての意識を共有し、災害時のたすけあいにも役立っている。

3 四季を感じさせ、利用者様の好みを尊重した取組を実現

苗植えや野菜の収穫など、四季を感じられる取組を1ヶ月に2回を目標に行う。次の季節には何が出来るか、利用者様と一緒に考えることで、利用者様の自発的な行動を促すとともに、利用者様の喜びが職員のモチベーションアップにも繋がっている。

受賞者メッセージ

「明日のために」というスローガンのもと、利用者様にいきいきとした暮らしを送っていただけるよう取り組んでいます。利用者様のために行った取組がこのように評価していただけたことを嬉しく思います。令和5年度は施設の内外を問わずイベントを行い、地域の方々との交流の機会も増え、取組も広がっています。今後もより良いサービスを提供できるよう職員一同励んでまいります。



日本文化で地域と交流。 災害時のたすけあいにもつながる

◆取組を始めた経緯

施設の目の前に自治会館が建設されたのをきっかけに、施設長が、利用者様には地域の一員として過ごしていただきたい。また、地域の方々には困ったときに相談できる場所にしてほしいと考え、自治会長様と定期的な話し合いの場を設け、地域との交流がスタートしました。

◆取組の概要・特徴

地域との垣根をなくしたいという思いから、地域の方々と利用者様が、盆踊りや子ども神輿など日本文化に触れることのできる行事と一緒に参加しています。盆踊りでは、利用者様の中にもお好きな方が多く、施設の中で音楽を流して踊るなど、体を動かさず取組につながっています。

イベントを企画する際は、施設の利用者様に楽しんでいただくことはもちろんですが、利用者様と地域の方とが顔の見える関係を築くことができるよう、互いに楽しんでいただけるようなイベントの企画を目指しました。

◆工夫したこと苦労したこと

自治会長様と定期的に話し合いを行い、情報交換を繰り返すことで理解を深めることができました。

その結果、地域の方々にも好意的に受け止めていただき、地域との交流が広がっているほか、例えば、町内の夏祭りに参加させていただいた際、利用者様が移動しやすいよう福引の会場を入口付近にするなど配慮もしていただくなど、利用者様の理解にもつながっています。

◆取組の成果

施設の外で規模の大きなイベントに参加させていただく機会が増え、利用者様の笑顔を沢山見ることができました。また、地域の方々とも顔の見える関係を築くことができ、施設職員が認知症の相談にのるなど、お互いに見守りあうような関係になっています。

最近では、台風の際に町内の方と密に連絡を取り合い、施設の駐車場を開放するなど、今までの活動を通して、災害時にも協力し合える関係になっていることが実感できました。



(盆踊りの企画)



(地域との交流)

今後に向けて

施設がある地域は70歳以上の方が多く、また、地域の方々からは、「認知症について理解を深めたい」というお声もあり、認知症で悩んでいる方やご家族にとっても相談しやすい環境をつくっていきたいと考えています。

地域の方々楽しい機会をいただくだけでなく、私たちができることを提供し、お互いにとってより良い関係になっていきたいと考えています。